

なつかしいアシの風景や
湿原の貴重な植物との出会い

浮島ヶ原自然公園

Ukishimagahara Nature Park

ミニガイド 6月版

企画・制作：富士自然観察の会

かつては「浮島沼」と呼ばれた湿原で
そこに生きる貴重な動植物に出会えます

四季折々の動植物を観察してみませんか？

浮島ヶ原の湿原には、環境省レッドデー
タリストや静岡県版レッドデータブック
に記載されている貴重な植物が生育して
います。

そこで、この湿原の貴重な植物群落と自然
風景を保全し、身近な自然を観察できる
自然公園として浮島ヶ原自然公園が整備



サワトラノオ

されました。サワ
トラノオやヒキノ
カサ、ノウルシなど
の貴重な植物、カワ
セミやアオサギな
どの野鳥たち、ハ
ラビロトンボやア
オモンイトトンボ
などの昆虫など、
様々な動植物との
出会いを楽しめる
自然公園です。

3種類のオカトラノオ属の花が見比べられます。(6月中旬以降)



クサレダマ(草連玉)

Lysimachia vulgaris var. *davurica*

黄色の花がまとまって咲く。

(公園南側入口周辺)



オカトラノオ(岡虎の尾)

Lysimachia clethroides

白色の花をつけた花序が曲がる。

(公園北側の丘、南側斜面)



ヌマトラノオ(沼虎の尾)

Lysimachia fortunei

白色の花をつけた花序は伸びる。

(公園南側木道沿い)

(タデ科の花 ミゾソバ・ママコノシリヌグイ・イシミカワを見比べてみるのもいいですね)

ハンゲショウの葉が白くなっています。



緑色だった葉の、半分が白くなります。花びらの代わりにこ
うして目立つことで、昆虫を呼び寄せると考えられています。
その姿から「半化粧」とする説(別名を「片白草」とも言いま
す)と、「半夏生」(夏至から数えて約11日後。七十二候
の雑節の1つ。)の頃に白くなるからという説があります。今
年の「半夏生」は、7月2日です。

公園中心部から南側にかけて、木道沿いで見られます。白く
なった葉の様子を、ぜひ見てください。

この他にも、ナヨナヨワスレナグサやヒメナミキ、ヒメギスなどの昆虫類、ニホンカナヘ
ビなどは虫類等、様々な動植物が観察できます。土日祝日は、公園ガイドがご案内しま
すので、管理棟までお申し出ください。

浮島ヶ原自然公園のWebサイト・ブログ・Facebookページを開設しています。

<http://ukishimagahara.net/> または

twitter 「@ukishimagahara」

Find us on
Facebook

「浮島ヶ原自然公園」

